

共創型学習 (Creativity Development)

「つたえること」と「ものづくり」－藍染めの科学－ (Handicrafts and Social Communications (Indigo Dyeing))

佐藤 高則・准教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 木 3・4

(平成19年度以前の授業科目:『自然と技術』) (平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『総合科目』)

【授業の目的】 藍染め文化は、吉野川の自然との共生の結果生まれてきた徳島の伝統文化である。このような地域文化を体系的に理解するためには、協同的作業を通じた体験型学習が必要であり、さらに今後の大学での能動的な学習の一助ともなりうる。この授業では、藍染めを体験しながらクラフト作品を創作することにより、藍染め文化を知り、経験を通して伝統的な日本の文化を知る。また、創作活動のグループワークを通じて、お互いのコミュニケーションをはかる。また、伝えたいことを作品作品に表現することにより、コミュニケーションについて考える。

【授業の概要】 本講義ではグループ単位で、作品の企画と製作、作品に込めるメッセージについて話し合う。藍染めや草木染めを基本としたクラフト作品を作成しながら、藍染めの原理と文化を学習する。作品をどのようにメッセージとして生かすかについて、グループディスカッションにより深めてゆく。

【キーワード】 共創型学習, ものづくり, コミュニケーション, 伝統文化, 藍染め

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 『共創型学習/「つたえること」と「ものづくり」-科学と遊ぼう-』(0.5), 『歴史と文化/(総)中国語Ⅱ』(0.5)

【到達目標】 藍染めの体験学習を通じて「藍染め文化」への興味を喚起するとともに、創造力を作品に反映させながら、コミュニケーション力の向上を目指す

【授業の計画】

1. 講義ガイダンス
2. 藍染めとは
3. 藍の発色を化学で考えよう
4. 藍染めしてみよう
5. 身近な草木で染めよう
6. 草木染めを科学する
7. クラフト作品の構想
8. 染料の調製と試し染め
9. 藍染め・草木染めで表現
10. 染色の完成
11. ソーイング

12. 作品の制作 (1)

13. 作品の制作 (2)

14. 発表会の準備

15. 発表会

16. 統括授業

【教科書】 特になし

【参考書等】 特になし

【成績評価の方法】 毎回のワークシート 60%, 報告・発表会 40% として評価する

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 本授業は「社会性形成科目群」です。

【WEB 頁】 <http://www.geocities.jp/satokichi2004jp/syllabus/jyugyou.htm>

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221142>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 佐藤 (3N05, 088-656-7657, tsatoh@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 授業時間以外の平日 9:00-17:00)

【備考】 地域社会人の方も受講する場合があります。

Creativity Development

Handicrafts and Social Communications (Indigo Dyeing)

Takanori Satoh · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 後期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『自然と技術』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『総合科目』)

Target) 藍染め文化は、吉野川の自然との共生の結果生まれてきた徳島の伝統文化である。このような地域文化を体系的に理解するためには、協同的作業を通じた体験型学習が必要であり、さらに今後の大学での能動的な学習の一助ともなりうる。この授業では、藍染めを体験しながらクラフト作品を創作することにより、藍染め文化を知り、経験を通して伝統的な日本の文化を知る。また、創作活動のグループワークを通じて、お互いのコミュニケーションをはかる。また、伝えたいことを作品作品に表現することにより、コミュニケーションについて考える。

Outline) 本講義ではグループ単位で、作品の企画と製作、作品に込めるメッセージについて話し合う。藍染めや草木染めを基本としたクラフト作品を作成しながら、藍染めの原理と文化を学習する。作品をどのようにメッセージとして生かすかについて、グループディスカッションにより深めてゆく。

Keyword) 共創型学習, ものづくり, コミュニケーション, 伝統文化, 藍染め

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) “Creativity Development/Handicrafts and Social Communications (Introduction to Science)”(0.5), “History and Culture/Handicrafts and Social Communications -Introduction to Japanese pottery-”(0.5)

Goal) 藍染めの体験学習を通じて「藍染め文化」への興味を喚起するとともに、創造力を作品に反映させながら、コミュニケーション力の向上を目指す

Schedule)

1. 講義ガイダンス
2. 藍染めとは
3. 藍の発色を化学で考えよう
4. 藍染めしてみよう
5. 身近な草木で染めよう
6. 草木染めを科学する
7. クラフト作品の構想
8. 染料の調製と試し染め
9. 藍染め・草木染めで表現
10. 染色の完成

11. ソーイング
12. 作品の制作 (1)
13. 作品の制作 (2)
14. 発表会の準備
15. 発表会
16. 統括授業

Textbook) 特になし

Reference) 特になし

Evaluation Criteria) 毎回のワークシート 60%, 報告・発表会 40% として評価する

Re-evaluation) 無

Message) 本授業は「社会性形成科目群」です。

Webpage) <http://www.geocities.jp/satokichi2004jp/syllabus/jyugyou.htm>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221142>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Satoh (3N05, +81-88-656-7657, tsatoh@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 授業時間以外の平日 9:00-17:00)

Note) 地域社会人の方も受講する場合があります。